

9月は「茨城県認知症を知る月間」です

毎年9月21日の「世界アルツハイマーデー」にあわせて、県では市町村とタイアップした広報啓発活動を実施しています。県では9月を「茨城県認知症を知る月間」とし認知症の早期発見や、認知症予防の取組みを推進しています。

認知症は脳の病気

認知症とは、脳や身体の病気などが原因で、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることにより記憶力や判断力などに障害しょうがいが起こり、日常生活に支障がある状態のことをいいます。認知症は高齢者だけでなく、若年性認知症もあり、誰にでも起こりうる脳の病気です。

“加齢に伴うもの忘れ”と“認知症によるもの忘れ”の違い

「人の名前が出てこない」「物の置き場所を忘れる」といったもの忘れを誰もが経験します。例えば、昨日の朝食のメニューを思い出せないことはよくありますが、認知症になると朝食を食べたこと自体を忘れ、「朝食を食べていない」と言うことがあります。

加齢に伴うもの忘れ

経験したことの一部を忘れる
物の置き場所を思い出せないことがある
曜日や日付を間違えることがある

認知症によるもの忘れ

経験したこと自体を忘れる
置き忘れ・紛失が頻繁になる
月や季節を間違えることがある

「年のせい…」と受診をためらわず、不安なことがあるときには早めに受診しましょう

志村大宮病院 認知症疾患医療センター

電話受付時間：9時～17時

診察日：月曜～金曜 第4土曜日（予約制）

☎58-8020

※電話予約をしてから受診してください。

常陸大宮済生会病院 もの忘れ外来

電話受付時間：13時～17時

診察日：水曜午前中（予約制）

☎52-5151

※電話予約をしてから受診してください。

認知症予防カフェ・家族のつどいカフェ

認知症の方やその家族、地域の方などがお茶を飲みながら交流し、認知症予防に効果的な頭と体を使った運動や介護や医療の専門相談ができます。

【認知症予防カフェ】毎月第4土曜日 10時～11時30分

【家族のつどいカフェ】偶数月第1土曜日 14時～16時

場所 サポートセンター大宮内 カフェテリアエルマウ



認知症の方への対応の心得「3つのない」

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

認知症についての正しい知識を持ち、対応について学ぶ「認知症サポーター養成講座」を企業、各種団体、小中学校などで開催しています。

受講者には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」を差し上げます。



認知症初期集中支援チーム

市では、平成30年5月に、医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を志村大宮病院認知症疾患医療センターに設置しました。

このチームでは、看護師、社会福祉士などが認知症の方や認知症の疑いがある方の家庭を訪問し、認知機能の低下により、どのような生活上の困難さがあるのか、本人や家族がどのように困っているのかなどを確認し、状況に合わせた今後の対応と一緒に考えます。認知症専門医の協力を得て、介護サービスや医療につなげていくために、おおむね6か月を目安に集中的に支援を行います。あわせて、本人や家族の心理的サポートも行います。



こんなときはご相談ください

- 例えば
- 介護サービスを利用したいが、本人がサービスを受けたくない
 - 認知症の診断を受けたいが、本人が病院に行きたがらない
 - 認知症の治療を中断している
 - 認知症の症状が強く、介護や対応に困っている など

認知症相談窓口

地域包括支援センターに認知症に関する研修を受けた「認知症地域支援推進員」を配置し、身近な場所で相談できる窓口を設置しています。認知症かなと心配な方、家族のことでお悩みの方はひとりで抱え込まずご相談ください。

秘密は厳守、相談は無料です。

■問い合わせ■

長寿福祉課 高齢者支援グループ ☎52-1111(内線173)

南部地域包括支援センター ☎53-6810 北部地域包括支援センター ☎57-3326

